



One For All, All For One.



One For All, All For One.

人に感動し、人をつなぎ、
「生きる」を支える看護を実践します

看護師に求められるものとは何でしょうか？ 知識、技術、経験…。

医療・看護のプロフェッショナルである看護師にとってそれらはもちろん重要ですが、
最も大切な、忘れてほしくないものがあります。

それは人としての感性の高さ、豊かさです。

人と人がつながり、共感、共鳴すること。

より良く生き、より良く死にゆく人間の生のプロセスを支えること。

人に寄り添い、自ら動き、情熱を持って人を動かすこと。

私たちはそんな感動を共有できる、心豊かな看護師を育てたいと考えています。

一人ひとりの力をチームの力に還元し、より良い医療・看護を提供するために、
あなたの成長を全力でバックアップします。

Newcomer Education

新人教育プログラム

集合研修(Off-JT)で学んだ知識・技術を所属部署で実践(OJT)します。
さらにカンファレンスで各自の学びや考えを共有して深め、
学びを統合していきます(往還型研修)。
このサイクルを繰り返すことで臨床実践能力を
確実に身につけることができます。



看護部キャリア支援目標

私たちは、看護部の理念に則り、専門職として常に看護の本質を追究し、科学的根拠に基づいた創造性、主体性のある良質な看護を提供できる看護師を育成します。

- 各部門の特性を踏まえた日常の看護活動(OJT)の充実
- 個人の自己啓発による学習支援活動(研究・研修支援)
- 専門的能力の育成(認定・専門看護師)
- 接遇の向上

新人看護職員研修4つの柱

- 看護の基礎作り
- 基礎看護技術の充実
- 医療安全の徹底
- 職場適応の促進と精神的支援の充実

充実のプログラムと
教育専門スタッフが
一人ひとりの成長を支えます

Career Support

継続教育・キャリア支援

臨床実践能力修得段階モデル

4つの臨床実践能力を伸ばしながら、
5つのステップでキャリアアップを支援します。



臨床能力 ニーズを捉える・ケアする・協働する・意思決定を支える

教育研究能力 キャリア形成・教育支援・研究

組織管理能力 社会性・目標管理・安全管理・業務管理

看護倫理

4つの臨床実践能力

院内制度

キャリアを活かしてより高いレベルの仕事に携わりたい。専門性をさらに高めたい。そうした思いに応えるため、当院ではさまざまな認定制度や支援制度を用意し、スキルアップを目指す人を支援しています。

院内認定制度

質の高い看護を提供するため、専門性の高い知識・技術を有する看護師を育成し認定する院内認定看護師育成制度を設けています。

- 静脈注射認定
- BLS認定
- ICLSインストラクター

院内支援制度

当院では医療・看護の最新情報を取得することを奨励しており、学会加入費や学会、研修会への参加費用、認定看護師資格取得のための支援制度を設けています。

- 学会加入費補助
- 学会・研修会参加費補助
- 認定看護師資格取得支援



がん看護推進委員会リンクナース

医師や他部署の看護師と連携し
がん看護の質的向上を目指す

9A病棟(血液内科・ペインクリニック)
Mさん

がん終末期の患者さん、ご家族との関わりがきっかけでがん看護に興味を持ち、学習を深め後輩に指導するうちに部署のがん看護リンクナースを任されました。医師や外来看護師と連携して新しいルールを作り、認定看護師に依頼して勉強会を開催するなど、がん看護の質を向上させるための活動を行っています。今後も、がん看護分野のエキスパートを目指していきます。

Voice



Voice

新人ナースからの
メッセージ #1

手厚い教育環境で
同期とともに
着実に成長できる

9B病棟(呼吸器内科・呼吸器外科・ペインクリニック・
ガンマナイフ・腫瘍内科)

Tさん

インターンシップに参加し、病棟の雰囲気の良さを感じて入職を決めました。教育制度が手厚く、じっくり学んで成長できるといったことも入職理由の一つです。

院内研修では、看護師になってから直面することが多い看護倫理についての内容がとくに勉強になり、常に考えて行動することの大切さを学びました。病棟で化学療法を行っているので、化学療法に関するプログラムも実践の場面で役に立っています。

病棟では先輩たちが優しく指導し、フォローしてくれます。一人ひとりの成長に合わせた教育プランを考えてくれるので、自分のペースで成長することができます。

また、同期と仲良くなったことも心強いです。同じ気持ちを共有できる仲間がいることは、仕事をするうえで大きなモチベーションになります。

まだ患者さんの日々の状態や全体像を捉えることができていないので、そ

れらを踏まえて適切な看護を提供できるようになりたいです。疾患や生活状況など多面的に患者さんを理解できるよう、努力していきます。

Senior's Voice

実地指導者より



わからないことはすぐ先輩に相談できる環境を整えています。指導する際にはまず新人の考えや思いを聞き、どんなケアがしたいのかを確認するよう心がけています。1年目の頑張りはずいぶん未来の自分につながるの、のびのびと成長してほしいです。



Voice

新人ナースからの
メッセージ #2

先輩たちを目標に患者さんの包括的看護を目指す

ICU

Iさん

当院は国際医療機能評価機関「JCI」の認証を取得しており、患者さんの目に見える形で安全かつ質の高い医療を提供している病院であることに魅力を感じ、自分もその一員となって働きたいと思って入職を決めました。

院内研修では、疼痛のある患者さんやせん妄リスクのある患者さんへの看護についてロールプレイを行い、どのように声掛けをして対応すれば良いのかを実践的に学べたことが勉強になりました。

ICUでは出勤後に先輩が1日の流れを確認し、時間調整についてアドバイスやフォローをしてくれます。3時間ごとの締め時刻にも、患者さんの状態に異常が

ないか、薬や処置に漏れがないかを先輩が一つひとつ確認してくれるので安心です。時間が空いたときには、術式ごとのケアの注意点を教えてもらっています。

困ったことがあればすぐに相談でき、業務が終わらないときには手伝ってくれるICUの先輩たちは、自分にとって身近な目標となる存在です。

今はまだ、目の前の業務を確実に遂行することに手一杯で、気持ちに余裕がなくなってしまうことも多いのが現状です。1日も早く必要な知識・技術を身につけて時間と心に余裕を持ち、患者さんの身体面、精神面を包括的に看護できるような看護師になりたいと思っています。

Senior's Voice

実地指導者より



ICUはさまざまな科が混在しているため、新人にとっては覚えることが多く大変な環境です。新人の頃はどうしてもできないことに目を向けがちになるので、新人自身ができていることに気づき前向きに看護に取り組めるような関わりを行っています。

患者さんご家族に 安心感を提供できる看護を

精神看護専門看護師 4C病棟(精神科)

Kさん

外科病棟に所属していたとき、精神的に辛い状況にある患者さんご家族への対応を精神科医師と精神看護専門看護師が援助してくれたことをきっかけに、自分も身体疾患を持つ患者さんの心理面を支援できるようになりたいと思い、専門看護師の資格を取得しました。現在はリエゾンチーム、認知症ケアサポートチームに所属して患者さんとスタッフを支援し、コミュニケーションや職員のメンタルヘルス、看護倫理に関する院内研修を行っています。患者さんご家族に安心感と元気を提供できるような看護を目指しています。

専門看護師



患者さんに必要なケアを タイムリーに提供できる

皮膚・排泄ケア認定看護師 外来

Kさん

看護師のケアによって患者さんの状態が改善されることが多い褥瘡やストーマケアに興味を持ち、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得。さらにタイムリーにケアを提供するため、特定行為研修を受けました。院内の褥瘡ケアを管理しながら、医師と連携し、褥瘡だけでなくさまざまな創傷に関して特定行為(褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法など)を行っています。より安全に一人でも多くの患者さんの褥瘡や創傷を良くしていきたいです。



特定認定看護師

認定看護師



患者さんの意思を尊重した ケア環境を整える

認知症看護認定看護師 4C病棟(精神科)

Hさん

認知症看護を実践する中で自身の能力不足を実感し、ケアの根拠を伝えられるようになりたいと考えて認定看護師の資格を取得しました。現在は認知症ケアサポートチームの一員として患者さんの思いや病棟スタッフの困難を聞き、ケアの助言を行っています。また、研修会を開催し認知症ケアの普及にも取り組んでいます。認知症になっても本人の意思が尊重されるようなケア環境を整えることが目標です。将来的には地域の認知症患者さんご家族を対象に、住み慣れた環境で暮らし続ける支援をしていきたいです。

診療看護師



医師不在時に迅速な対応で 患者さんの重症化を防ぐ

診療看護師 脳血管内科

Mさん

医師の不在時にも効率的な医療を速やかに提供できる診療看護師の存在を知り、自分自身の知識・技術を向上させたいという思いもあって大学院へ進学し、診療看護師の資格を取得しました。現在は脳血管内科に所属し、医師不在時や患者さんの容態が急変したとき、検査結果に基づいて早急な対応が必要とされるときなどに、初期対応をすることで重症化を防ぐ努力をしています。患者さんの状態や今後の治療方針について多職種間での橋渡し役となり、患者さんにとって安心・安全な高度医療の提供に貢献していきたいです。

ハートケアチーム



チームの役割

心不全はあらゆる循環器病の終末像といわれ、超高齢化を背景に日本ではますます心不全患者が急増しています。多職種連携による心不全患者管理と心不全緩和ケアを途切れなく提供するために、2019年、当院にハートケアチームが発足しました。

チームにおける看護師の役割

「心臓リハビリテーション」「教育」「ACP/緩和ケア」「療養支援」の4グループで構成され、医師・看護師・リハビリ・薬剤師・栄養士などがメンバーです。看護師は心不全患者の最適な療養支援に向けて医師や他職種と円滑に連携し、チーム医療の推進に貢献します。



CCU
Oさん

ICT



チームの役割

院内での感染の発生や伝播を予防し、感染を制御し終息を図る役割を担っています。手指衛生をはじめとした感染対策の徹底を図るために教育やマニュアルの整備、実施率調査などを行い、院内の感染状況を把握するためにサーベイランスを行っています。

チームにおける看護師の役割

医師や薬剤師、臨床検査技師とともに専門性を活かして活動しています。看護師は患者さんと接する時間や現場で過ごす時間が最も長く、現場を一番把握しているので、方針についてはチームで検討し、部署への働きかけや職種間の調整などは看護師が行います。



感染対策推進室
Nさん

周産期医療チーム



チームの役割

産科医師・小児科医師・助産師・看護師で協働し、妊娠期から産後の周産期に関わるケアを行っています。院内においては、他部署に入院した妊婦や産後の女性に対する専門的なケアを、他部署と連携を取りながら行っています。

チームにおける助産師の役割

妊婦健診や分娩・産後のケア、乳房ケア、家族ケアなどを行っています。患者さんからの個別の要望に合わせて、助産師がオーダーメイドのケアを提供します。NTTのネットワークを活用して、オンラインを取り入れた最先端の安心なケアに取り組んでいます。



8A病棟(産科)
Yさん

緩和ケアチーム



チームの役割

緩和ケアチームは身体症状を担当する医師・看護師・薬剤師・管理栄養士をコアメンバーとした多職種で構成されています。一般病棟の患者さんが治療を円滑に遂行できるようにケアを提供する専門家グループで、異なる専門性や役割を持つメンバーで構成されています。

チームにおける看護師の役割

一方的に指示して解決するのではなく、病棟スタッフが多面的な視点で患者さんを捉え、「その人らしい生活」を送るために必要なケアを提供できるよう、一緒に考えています。病棟との窓口となり、どんなことでも相談してもらえようチームワークを大事にしています。



5C病棟(緩和ケア)
Sさん

勤務体制

勤務制度

二交替制の勤務制度により、日勤7.5時間、夜勤15時間の労働時間を実現しています。日勤と遅出を組み合わせて引き継ぎの忙しさも緩和し、無理なく働ける環境が整いました。

二交替制

日勤8:30～17:00
夜勤16:00～9:00

休日制度

4週8休制

休暇

年次有給休暇(年間20日)、夏季休暇(5日)、特別休暇(結婚・出産休暇)など



一人ひとりの
ワークライフバランスを大切に、
看護師としていきいきと働き、
プライベートはしっかり休める
体制を整えています。

福利厚生

NTT東日本を母体とする
企業病院だからできる日常生活への
さまざまなサポートがあります。
長く安心して働ける環境です。



看護師寮

35歳まで利用できる独身寮を完備(月額1万1,000円～)。病院に隣接した独身寮のほか、病院から5km圏内にワンルームマンションを借り上げています。

家賃補助

アパートなどを借りる際には住宅補助費が支給されます。毎月3万7,000円を年2回まとめて支給。対象は45歳までです。

子育て支援

子育てをしながら仕事を続けられるように、子育て支援制度が充実しています。

- 育児休職制度：3歳まで
- 短時間勤務(4時間・5時間・6時間制度)：小学3年生まで
- 院内保育所あり

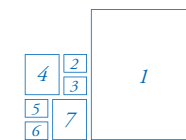
カフェテリアプラン (選択型福利厚生制度)

レクリエーション(宿泊施設、アミューズメント施設、フィットネス施設など)、健康増進支援、財産形成支援、住宅関連支援などの多彩なメニューを用意しています。

フィットネス補助制度

契約しているフィットネスクラブを1回500円で月8回まで利用できます。大規模な福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」と提携しており、旅行、エンタメ、グルメ、学習など幅広いメニューの中から優待サービスを受けられます。

院内環境



1. 明るい光が入る吹き抜けのロビー。
2. ロボット手術で患者さんの負担を軽減。
3. 病室(個室)の様子。
4. 都心の便利な場所に立地する病院。
5. ハイブリッド手術室の様子。
6. 庭園は患者さん、スタッフの憩いの場。
7. ナースステーションの様子。



病院データ (2021年4月)

病床数
594床

職員数
1,277人(看護職員数770人)

外来患者数
1日平均1,483人

看護体制
7対1

入院患者数
1日平均348人

診療科目

救急科、総合診療科、国際診療科、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、脳血管内科、脳神経外科、脳神経内科、高血圧・腎臓内科、消化器内科、肝胆膵内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、リウマチ膠原病科、腫瘍内科、感染症内科、外科、整形外科、スポーツ整形外科、乳腺外科、形成外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、精神神経科、心療内科、放射線科、麻酔科、集中治療科、ペインクリニック科、リハビリテーション科、緩和ケア科、病理診断科

Access

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

TEL(03)3448-6111 (代表)

